

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **251** 号

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年5月下旬配本 予価3780円(本体3500円+税) プレント・バーリン、ポール・ケイ 著/日高 杏子 訳 基本の色彩語 普遍性と進化について ★ 人間の思考は使用する言語に影響を受けるとする言語相対説に基づき、異言語話者間に共通の色彩観は生まれないと考えられていた1960年代に、人間が言語を超えて焦点色の観念と基本的な色彩カテゴリーを共有していること、色彩を表す語には共通の進化パターンが存在することを論証した画期的研究。膨大な対人調査と歴史言語学的再構による分析は文化人類学、心理学などの分野にも大きな影響を与えた。【美術・言語学】 ☆関連書:西川好夫『新・色彩の心理』(小局刊)、A.H. マンセル『色彩の表記』(みすず書房)。	四六判上製・288頁 《叢書・ユニベルシタス1041》 ISBN978-4-588-01041-5 C3370
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年5月中旬配本 予価3240円(本体3000円+税) 有岡 利幸 著 樗 ★★ 街路の並木や寺社・庭園などに亭々と聳えるケヤキの大樹は、古くから人々に親しまれ、幾代にも語り継がれて、日本人の生活文化に結びついてきた。長年営林事業に携わってきた著者が実地での見聞と文献・資料を駆使し、その生態から信仰や昔話、防災林や木材としての利用まで、ケヤキと日本人のかかわりを語る。樹齢1000年にも及ぶ各地の巨樹(天然記念物)も紹介する。【文化史・植物】 ☆好評既刊書:ものと人間の文化史『杉』『楠』『檜』『柳』『タブノキ』など。	四六判上製・304頁 《ものと人間の文化史176》 ISBN978-4-588-21761-6 C0320
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年6月下旬配本 予価4104円(本体3800円+税) ジーン・シャープ 著/三石 善吉 訳 市民力による防衛 軍事力に頼らない社会へ ★ 武器を持たずに外国の侵略に抵抗し、国内の独裁体制を抑止・打倒することは可能か。国家ではなく市民ひとりひとりを主体とする非暴力抵抗運動により悪しき体制の権力の源泉を無力化し、軍事システムを超える武器なき防衛体制を実現するための道筋を示す。「アラブの春」においても大きな注目を集めた「非暴力の政治学」の先駆的研究者による、憲法第9条を考えるうえでも必須の書。【政治思想・政治哲学】 ☆関連書:G. シャープ『独裁体制から民主主義へ』(筑摩書房)。	四六判上製・336頁 《サピエンティア44》 ISBN978-4-588-60344-0 C0331
-------	----	--	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 好評発売中!! 定価1620円(本体1500円+税) 田中 優子 著 自由という広場 法政大学に集った人々 ★★ 「大学」とは何のためにあり、どんな経験を可能にしてくれる場所なのか? これからの世界を切りひらくために必要な「実践知」とは何か? 法政大学という「広場」で得た自由な精神で、困難な時代を生き抜く卒業生たち。田中優子総長が、世代も職種も社会的立場も異なる、各界で活躍する出身者や名物教授たちとの対話から書き下ろした「自由を生き抜くための実践知」論。大学の新しい可能性が見えてくる。【大学論】 ☆江戸学で著名な法政大学の現役総長による、現在の社会と教育に向けた強くしなやかなメッセージ!!	四六判上製・180頁 ISBN978-4-588-67215-6 C0037
-------	----	--	--

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
 * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。